

# 1、事業所の運営状況について

## (1) 認知症対応型通所介護事業所の概要

2023年 1月1日 現在

1、事業所名称	ヴィラ山科オレンジデイサービスセンター				
2、所在地・連絡先	(住所)京都府京都市山科区大宅御所田町115番地1 (電話)075-572-6677 (FAX)075-575-5055				
3、サービスの種類	認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護				
4、管理者の氏名	金谷 夏美				
5、定員	12名				
6、営業日等	営業日 月曜日から土曜日 営業しない日 日曜日・12月31日～1月3日 営業時間 8:30～17:00				
7、事業所の職員体制	331				
	職種	人数(人)	区分		職務の内容
			常勤(人)	非常勤(人)	
	1、管理者	1	1		生活相談員と兼務
	2、生活相談員	4	4		1名管理者と兼務 2名介護職員と兼務
	3、介護職員	6	3	3	2名生活相談員と兼務
4、看護職員	3	2	1	3名通所介護看護職員と兼務	
5、機能訓練指導員	4	4		2名通所介護看護職員、2名通所介護機能訓練指導員と兼務	

職員体制は上記のとおりです。平均すると1日、約4.5名の介護職員が出勤しています。ご利用者2.3名に対して介護職員が1名付き添いができる環境になっています。

## (2) 月別利用状況 2022年7月～12月

	開所日数(日)	稼働率	利用者延べ人数(人)	1日平均利用者人数(人)
7月	24日	59.4%	171人	7.1人
8月	23日	52.5%	145人	6.3人
9月	26日	57.7%	180人	6.9人
10月	26日	67.0%	209人	8.0人
11月	20日	60.0%	144人	7.2人
12月	26日	60.3%	188人	7.2人
6ヶ月間の平均稼働率			1,037人	59.4%

利用者人数の1日平均がおよそ7名前後のご利用で、稼働率の6ヶ月平均は59.4%でした。8月にはオレンジデイサービスのご利用者から5名コロナ陽性者が発生したため4日間の休業となり、11月には一般デイサービス・オレンジデイサービスのご利用者及び職員から多数のコロナ感染者が発生したため6日間の休業となりました。

### (3) 月別平均介護度

2022年7月～12月利用実績

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均介護度	3	3	2.9	2.9	2.8	2.9

7月～12月までの月別平均介護度は上記のとおりです。6ヶ月の平均要介護は 2.9でした。

### (4) 2022年7月～12月の職員に対する研修実施状況について（勉強会）

7月	BCP(事業継続計画・コロナ感染症)
8月	認知症
9月	なし
10月	口腔ケア・食事介助
11月	なし
12月	ポジショニング

定期的に一般型デイサービスとオレンジデイサービス合同で勉強会を行なっています。

・7月の「BCP(事業継続計画・コロナ感染症)」の勉強会では、コロナ感染者が発生した際にデイサービスが営業を継続していくためには、例えば自宅で入浴が困難な方を対象に入浴だけのサービスを提供する等の提供サービスを限定し、提供時間を短縮して営業を継続していく方法を学びました。また、感染予防防護具の正しい着用方法についても学びました。市町村・保健所や当施設が定めている基準に準拠しながら、営業及び業務の継続に努めご利用者の生活への影響を最小限にとどめられるよう日頃の日頃の準備と備えが必要であると感じました。

・8月の「認知症」の勉強会では、実際に自分自身が“認知症になったら、どのようなケアを望むだろう”と想像し考えることで現在行なっているケアを振り返る機会となりました。認知症の方は「今何を求めているのだろう？」と相手の気持ちに寄り添うケアの必要性や、認知症の方がその人らしく過ごせるようなケアを提供することの重要性を学びました。

・9月は勉強会の開催の予定はなく実施しておりません。

・10月の「口腔ケア・食事介助」の勉強会では、食事介助・口腔ケアの基礎知識を今一度再確認しました。食事は生きていく上で必要不可欠です。そんな食事の時間を楽しい時間にするために、正しい食事介助方法を学び又、より良い食事をするためには口腔ケアも必要不可欠であることも学びました。

・11月は勉強会の開催の予定はなく実施しておりません。

・12月の「ポジショニング」の勉強では、皮膚外傷のリスクを減少するための適切なポジショニング方法。また、ポジショニングはベッド上だけのものではなく、普段座席に座っておられる時や食事の際も用いることができ、安楽な姿勢保持には欠かせないということも再認識しました。

以上のほか外部研修にも参加し学びを深めています。

5月16日の「認知症のお話 基本から臨床現場まで」の研修では、認知症の種類や病状などの基礎や認知症が進行して行くにつれての臨床現場(医療現場)との関り方を学びました。認知症になると社会生活ができなくなります。そうすると本人だけの問題でなく家族にも大きく影響が及ぼされます。家族だけで認知症の方を支えるのではなく医療機関や支援サービスを上手く利用することで認知症の方を支

えて行くことは重要であると感じました。

11月22日の「認知症ケア介護サービス事業者と考える」の研修では、高齢者や認知症の方と共に地域や介護施設がより良く変わって行くということはどういうことか」を具体的な活動内容を通して学びました。あるデイサービスでは、一般企業から依頼された内職をデイサービス内の物づくりレクリエーション内で作成し実際に販売する取組みを行なっている。と伺い、デイサービスでも環境を整えれば、デイサービスご利用者でも社会参加が行なえることに刺激を受け、今後オレンジデイサービスのご利用者も社会参加ができる活動がないか探し提案していこうと思いました。

12月20日の「デイサービスは差別化が重要！～ご家族・ケアマネさんに評価された独自対策をご紹介」の研修では、他の事業所のデイサービスとの差別化を図るための取組みのノウハウを学びました。機能訓練を実施することでプレゼントや施設通貨に交換するというお得で楽しみに結びつくよう動機付けをされながらADL(移動・更衣・食事・入浴・排泄等の日常生活動作)維持向上につながるような取組みをされ、他のデイサービスとの差別化を図られていました。今回の研修を基に今、実施していることを進化させ、他のデイサービスとの差別化を図れるような検討をしご家族やケアマネさんから選ばれるような事業所を目指したいと思いました。

12月20日の「認知症ケア地域包括センターと考える～高齢者や認知症の方とともに地域や企業が良く変わっていくこと～」の研修では、認知症の方や高齢者の方が住み慣れたまちで何時までも暮らすことができ、住み良いまちづくりのためには、地域で認知症の方や高齢者を支えていくことが大切であると学びました。京都市では、認知症の方が気軽に外出できるような場所づくりを地域で取り組み、公共交通機関の職員も認知症についての勉強を行ない、認知症の方への対応が行なえる環境づくりに努める活動が行なわれていると知りました。日々認知症の方と関わらせていただいている私達も地域へ出向き認知症の方が、住み慣れたまちで生活できるよう専門知識を活かし、関わりを持ちたいと思いました。

## 2、行事報告・ご利用者の様子について

### 行事実施報告

7月	運営推進会議
8月	なし
9月	なし
10月	家族交流会(延期)
11月	紅葉
12月	クリスマス会

行事報告、ご利用者の様子についてです。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出は自粛し施設内で行事を行ないました。

- ・7月の「運営推進会議」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催となりました。
- ・8月及び9月は行事企画の予定はなく、行事の開催はありませんでした。
- ・10月は「家族交流会」の実施予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期となりました。
- ・11月の「紅葉」行事は、利用者お一人おひとり紅葉の前で写真撮影を行ない、写真をラミネート加工しフロアに掲示しました。掲示している写真の前をご利用者が通られると「うわーこれ私？綺麗に写ってるわ！」と仰い、暫く写真に見とれておられました。写真は、職員からのメッセージを添えてご利用者お一人おひとりにプレゼントさせていただきました。
- ・12月の「クリスマス会」では、皆さんサンタクロースの帽子をかぶり、クリスマスの歌に合わせての体操を行い、鈴やタンバリンを鳴らしたり、職員お手製のクリスマスツリーに見立てたダンボール製の的にボールを入れるボ

ール入れゲームで盛り上がりました。

企画行事以外にも、日頃さまざまなレクリエーション等を提供させていただいています。

- ・身体機能維持を目的として散歩レクリエーションを行なっています。ただ散歩するだけでなく、ヴィラ山科自慢の中庭の植物を觀賞されることで季節感も感じていただいています。
- ・脳トレレクリエーションでは、脳の機能維持や眼球運動を養うことを目的として、漢字並べや数字探しといったレクリエーションを提供させていただき、参加していただいたご利用者は真剣な表情で取り組まれています。
- ・壁画・物づくりレクリエーションでは、手先の運動や完成した時の達成感を感じていただくことを目的としたレクリエーションで、作業中ご利用者から「これは、こうしたほうがいいのか？！」といったアイデアをいただいたり、ご利用者同士で「あなたこれして!!私こっちします」と作業を分担されたりと協力し合いながら作業をいただいています。
- ・身体を動かすゲームレクリエーションでは、名前のおり身体を動かすことを目的としているのと他者との交流を目的としたレクリエーションです。ゲームの種類は、的当てやピンポン玉キャッチ・風船バレー・輪投げといったゲームがあり、他者がプレイされていると「頑張れ！」「あともう少し！」「凄いすごい！」と応援されたり、ご利用者同士で一致団結しゲームに参加される姿勢も見られます。

今後も沢山の種類のレクリエーションを提供させていただきます。

### 3、事故及びヒヤリハット事例の報告(2022年7月～12月)

#### 事故(インシデント・アクシデント)発生状況

発生件数			
致命的	重度	中度	軽度
0件	0件	1件	4件

2022年7月から12月までの間に事故が5件ありました。

#### (内容)

- ・集団体操時に、タオルを上にはり上げて掴む運動で、上にはり上げたタオルを追いかけて足が絡んでバランスを崩し、転倒された。
- ・当日利用予定ではないご利用者を迎えに行き、送迎間違いとなった。
- ・送迎中、車の向きを変えようと十字路に進入した際、車両右前から入ってきたバイクと接触事故となった。
- ・送迎中、利用者宅の定位置に車をバックで駐車しようとした際に、車両後部と電柱を支える支柱が接触した。
- ・送迎中、右折した際に左バンパーが民家の壁に擦れ、車両及び民家の壁に傷がついた。

#### ヒヤリハット(ほっと報告書)の発生状況

発生件数								
転倒・ずり落ち	異食	誤薬・誤飲	怪我	苦情	忘れ物	紛失	無断離所	その他
7件	5件	1件	4件	3件	2件	2件	5件	6件

ヒヤリハットとは事故に至る可能性のあったできごとの発見のことです。事故分類の内容はどの事故に繋がる恐れがあるかを示したものです。情報を共有し、事故を未然に防ぐことを目的としています。

2022年7月から12月までのヒヤリハットの件数は35件でした。

#### (「その他」の内容)

- ・トイレ誘導時、普段尿取りパッドを使用されているご利用者にパッドの装着を忘れ、衣類が汚染してしまった。
- ・脱衣時男性・女性とカーテンで仕切り、脱衣をされていた男性ご利用者が大声を出された。カーテンの向こう側におられた女性ご利用者がカーテンを開け「うるさいぞ」と言われた。
- ・ご利用者自宅マンションの外壁塗装中、マンション内の足場が狭かったため、ご利用者の身体を支えることに意識が行き、ご利用者の靴がペンキが塗られた壁に付いてしまった。

- ・ご利用者同士の歯ブラシの返却を間違えそうになった。
- ・前日にチェックした配車表に臨時のご利用者の名前が記載されていなかったので直接記載したが、普段の送迎時間とは違う時間帯の欄に記載してしまった。実際に送迎に行く直前で他職員が気が付いた。

#### 4、2022年度 満足度アンケート実施状況の報告

- 10月 満足度アンケートについて配布
- 11月5日 締め切り
- 12月 オレンジ会議にて結果報告。改善案を考案。
- 1月 オレンジ会議にて改善案を決定。
- 2月 ご利用者、ご家族へアンケートの回答配布予定

資料の内容は以上になります。

別紙、回答用紙がございますので、ご不明点やご質問、感想などがございましたら、2月10日(金)までにご返答をよろしくお願い申し上げます。